



## 「森の家」冬期の開館時間

旭山記念公園内「森の家」、冬期は、毎週土日及び祝日、10時～16時開館です。

## 2015年元旦初日の出レポート

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

2015年の旭山記念公園も元旦初日の出から始まりました。

**今年の初日の出は見られた？ 見られなかった？**

今年は訪れる人の出足が早めで、初日の出時刻7時5分の30分前には駐車場が8割方埋まっていました。

10分前に展望台周辺の人を数えたところ約180人でした。

◎太陽が昇る方向には雲が多い

今年は無風、気温もそれほど低くなく、防寒対策をすれば意外なほど寒く感じられない朝でした。

しかし、太陽が昇る南側には雲が多く、初日の出が見られるかはぎりぎりまで分からない状況でした。西の空は晴れていましたが、無風のため雲はほとんど動かず。

◎日の出時刻7時5分には

日の出時刻を迎えましたが、太陽は雲の向こうで見えませんでした。地平線より少し高い位置の雲は薄かったようで、その雲を通してより遠くの空が朝焼けでオレンジ色になってきたのは分かりました。

7時10分頃、展望台に来ていた人の約半数が諦めて帰り始めました。

一方で残った人は、少し上の薄い雲の向こうに太陽が昇るのを待っていました。

◎これが今年の初日の出

7時23分、期待通り、薄い雲の向こうに太陽が見えました。今年の初日の出です。

間にある雲の影響で、太陽が登るにつれ2つに分かれ、3つに分かれて見えました。

右写真が7時31分のもの、幻想的なシーンでした。

◎来訪者数はつかめず

毎年、初日の出が見られてから人が帰る波が始まり、そこから来訪者を数えています。今年は見られないと判断した人が数え始める前に帰り始め、来訪者数を数えることができませんでした。

10分前に約180人、それから増えていたので、今年の来訪者は200から250人の間と推定されます。

いずれにせよ、多くの人で賑わいました。

なお、駐車場の混雑具合も道路を見に行くことができず不明ですが、6時50分には一つしたのバス停まで車が並んでいたという地元の方の情報があったことを付記しておきます。

◎スマホによる近年のある変化

旭山で初日の出を見るようになってもう干支が一回り以上が経ちます。

かつては、若い人は早朝に起きていることが少ないせいか、太陽は漠然と「東」から登るという頭で、展望台から東すなわち市街地の方を見ている人が多く、実際に登った太陽を見て、「そっち(＝南東)から昇るんだ」と気づく若い人が多かった印象があります。

しかし最近はスマホが普及し、正確な情報を得やすくなったためでしょう、はじめから南東を見て待っている若者が増えました。

今年引き上げるのが早かったのもそのせいでしょうけど、初日の出も時代により変わるものなのですね。



2015年の初日の出

## 1月17日(土)「スノーキャンドルの明かりをともそう」

阪神淡路大震災で犠牲になられた方々への追悼と被害に遭われた方々を応援することから全国で始まった「スノーキャンドルの明かりをともそう」、旭山では今年も行います。

スノーキャンドルはバケツと空き缶で簡単に作れます。

数が多いとより見応えがあります、ぜひご参加ください。

- 2015年1月17日(土) 15時半開始 17時頃まで  
旭山記念公園「森の家」周辺、参加費無料

2014年の  
ようす



## スノーシュー貸し出し1月10日(土)から

「森の家」のスノーシュー貸し出しは1月10日(土)からと決まりました。

1足100円、土日祝日の10時～14時

時間制限なし(ただし15時頃までに「森の家」にお戻りください)

大きさはS(60kgまで)、M(80kgまで)、L(それ以上)の3種類あります。

- スノーシューで行くおすすめポイントは、「森の家」の裏山東斜面。

100mほど上るとカラマツの向こうに札幌の街並みを見渡すことができ、さらに上西側の林の縁に株分かれした大きなミズナラの木があります。



## 「旭山冬のフェスティバル2015」2月11日(予告)

「旭山冬のフェスティバル2015」、今年も行います。

イグルー作り、スノーシュー自然観察、「花炭」作り、バーニングペン工作、などが主なプログラムです。

事前申し込み不要、防寒対策をしっかりとした上でお気軽にお越しください。

- 2015年2月11日(水・祝) 9時半受付開始、10時～14時半頃まで「森の家」集合  
参加費:大人300円、中学生以下200円、未就学児無料(参加費には豚汁1杯が含まれています)

## 旭山の鳥情報板 2015年1月

◆冬鳥の状況・・・ツグミ:12月から1月にかけて30～50羽ほどの群れが時々ナナカマドの実を食べに来ていました。ただし真冬に向かうにつれ数が減ることが予想されます。

・ヒレンジャク:1月にもまだ30羽ほどが滞在しています(右写真)

ヒレンジャクも例年真冬には見られなくなるため、動向に注目です。

・ベニヒワ:1月3日現在20羽ほどが滞在しています

「森の家」の周りに1時間いるとほぼ必ず見ることができます。

・マヒワとウソは時々声が聞こえ、近くで見られることもあります。

◆その他・・・カケスが今年は少ないです。・キバシリ:時々見られます

・エナガ(亜種シマエナガ):12月はよくいましたが1月に入り見る機会が減りました。

・キクイタダキ:「ミュンヘンの森」や吊り橋付近の松で見られます。・クマゲラ:12月は出現少なかったです。



## 編集 後記

冬でも旭山記念公園を訪れる人はたくさんいらっしゃいます。

自然観察、登山、犬の散歩など、「森の家」では冬の間の活動もサポートしてゆけるよう努めておりますので、ぜひお立ち寄りください。(編集人:皆川昌人)



公式サイト

「アカゲラ通信」第14号 2015(平成27)年1月1日発行

発行:(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話 011-200-0311(土日祝日 10時～16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>